

甲佐町議会だより



清流

第187号

令和5年(2023)11月15日発行

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 宮本 修治

9月定例会



令和4年度各会計決算の認定他	②～③
そこが知りたいQ&A	④
一般質問(5人)ここが聞きたい	⑤～⑨
未来へのつばさ	⑩

つなぐよバトン
未来にも

令和5年第3回(9月)定例会

令和5年第3回定例会は、9月15日に開会し、21日まで7日間の審議を行った。

議案審議においては、令和4年度各会計決算の認定、報告案件、条例案件、令和5年度各会計補正予算など町長提出の14案件、議員発議の条例案件について慎重に審議し、すべて原案のとおり認定・可決した。

一般質問には5議員が新町長のマニフェスト、災害対策、地域振興、道路・交通対策等について活発な議論を展開した。

審議結果

区分	議案名	審議結果
認定第1号	令和4年度甲佐町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(反対2)
認定第2号	令和4年度甲佐町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(反対2)
認定第3号	令和4年度甲佐町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(反対2)
認定第4号	令和4年度甲佐町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(反対2)
認定第5号	令和4年度甲佐町水道事業会計決算の認定について	認定
報告第3号	財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告
議案第31号	甲佐町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決(反対2)
議案第32号	甲佐町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第33号	甲佐町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第34号	甲佐町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第35号	令和5年度甲佐町一般会計補正予算(第5号)	可決
議案第36号	令和5年度甲佐町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第37号	令和5年度甲佐町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第38号	令和5年度甲佐町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
発議第6号	甲佐町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	可決

令和4年度各会計決算額

会計の名称	歳入	歳出	差引額
一般会計	97億6,629万円	88億1,776万円	9億4,853万円
国民健康保険	15億4,803万円	15億1,062万円	3,741万円
介護保険	16億5,971万円	15億9,279万円	6,692万円
後期高齢者医療	1億7,940万円	1億7,826万円	114万円
合計	131億5,343万円	120億9,943万円	10億5,400万円

端数処理等により差引及び合計額が合わない場合がある。

水道事業会計決算額

収益的収入	1億6,954万円	収益的支出	1億5,849万円
資本的収入	572万円	資本的支出	9,896万円

条例関係

甲佐町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事評価の期間及び勤勉手当基礎額を改正する条例。

甲佐町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

甲佐町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
 こども家庭庁設置法等の施行に伴う条例。

甲佐町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

放課後児童支援に関する経過措置を改正する条例。

補正予算

令和5年度甲佐町一般会計補正予算(第5号)

6億3571万5千円を増額し、総額91億4568万4

千円としたもの。主な補正は、基金積立金4億円及び災害復旧費1億3065万7千円などの補正。

令和5年度甲佐町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

1779万8千円を増額し、総額15億1262万円としたもの。主な補正は、令和4年度決算による補正。

令和5年度甲佐町介護保険特別会計補正予算(第1号)

6983万9千円を増額し、総額16億7238万円としたもの。主な補正は、令和4年度決算による補正。

令和5年度甲佐町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

113万5千円を増額し、総額1億8780万6千円としたもの。主な補正は、令和4年度決算による補正。

発議

甲佐町議会議員の請負の状況の公表に関する条例

地方自治法の一部改正によ

り、議会議員に係る請負に関する規制が緩和されたことを踏まえ、町に対し請負をする議員が、議長に対し請負の状況を報告し、議長が報告の内容を公表し、請負の状況の透明性を図る目的の条例。

第3回臨時会

専決処分

令和5年度甲佐町一般会計補正予算(第3号)

3386万6千円を増額し、総額80億6074万3千円としたもの。主な補正は、7月の豪雨災害復旧に係る測量設計委託料などの補正。

令和5年度甲佐町一般会計補正予算(第4号)

4億4922万6千円を増額し、総額85億996万9千円としたもの。主な補正は、7月の豪雨による熊本甲佐総合運動公園の災害復旧費4億2800万円、新型コロナウイルススワクチン接種事業1752万6千円などの補正。

そこが知りたいQ&A

9月定例会
質疑から

企業版ふるさと納税

Q 企業版ふるさと納税のマッチング謝金及び業務委託内容は。

A この目的については、企業版ふるさと納税の寄付募集に関して町独自のPR活動に加えて、自治体と企業を結び付けるためのツールやノウハウを持った民間事業者に依頼することで、さらなる寄付の増額につながると考える。その中で謝金については9月までの実績に基づいて寄付金額の10%を予定している。

また、委託については、補正予算議決後に、業者と委託契約を締結し、さらなる寄付金増につなげていきたいと考える。

子育て支援事業

Q 地域子育て支援センター事業、ファミリーサポートセンター事業及び病児・病後児保育の令和4年度の活動内容は。

A 地域子育て支援センター事業については、子育て家庭に対する相談事業、育児支援事業などを社会福祉法人へ委託している。実績として、令和4年度に親子の参加で、延べ539名が利用されている。

ファミリーサポートセンターについては、子育てを地域で相互援助するために育児の援助を受けたい人と援助を行いたい人の引き合わせと、連絡・調整等をNPO法人に委託して実施している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあり、利用件数は、0件で電話相談は、4件あった。

今年度は、子育てサポーターの交流会を実施している。

病児・病後児保育については、甲佐町、御船町、嘉島町の3町で協定を結んで実施しており、病児・病後児の子どもを預かる保育施設は御船町にある。令和4年度の甲佐町の登録者数は児童4名で、利用された児童数も4名になっている。

介護基盤緊急整備事業



甲佐町地域子育て支援センター

Q 介護基盤緊急整備特別対策事業を活用して公民館等の整備を行った行政区は。

A 介護基盤緊急整備事業については、今年度は、5行政区から要望があり、県に補助金申請等の要望を出している。

定住促進助成金

Q 定住促進助成金の令和4年度の給付実績は。

A 令和4年度の給付件数は、20件になる。内訳として町内の方が8件、町外の方が12件で内1件が県外の方である。



一般質問

総合運動公園の被害対策は

建設課長 被害を最小限に抑える手法を検討



佐野 安春 議員

問 7月3日の総合運動公園浸水被害は総計で4億円を超える大きな被害となっている。これからの対策は非常に重要であるが、被害対策をどう考えているのか。

志戸岡建設課長

被害を全く出さないことは無理と考えるが、最小限に抑える手法は今後も検討していく。高水敷に設置した施設なので異常気象による洪水等で被災する可能性はあるが、被害をいかに最小限に止めるかを国交省とも協議をしながら整備を行っていく。浸水により人工芝がめくれにくくする施工方法、管理道路となっている小堤の嵩上げ^{かさあげ}など考えている。その他、土砂の掘削や水の流れを変える工法についても考えている。



浸水によりめくれた人工芝

小中学校の熱中症対策は

問 山形県米沢市で部活動後の下校時に熱中症による死亡事故があつている。その事故以降、遠距離通学者にはバス代全額補助が行われるようになったそうだ。

この事例のように通学時の熱中症対策が行われているところもある。学校生活において授業中、部活動、学校行事など、それに登下校も含めて熱中症対策に努める必要があると思うが如何か。

吉岡学校教育課長

熊本バスに問い合わせは行なっている。回答として、運行経路、車両、ドライバーなどの確保等の調査と協議が必

要とのことであつた。

路線バスの利用の場合、白旗小は登校の時間帯に路線バスを利用することは可能と思われるが、下校に利用する場合は授業終了時刻などの関係で問題がある。その他個人負担等が懸念される。

問 菊陽町が熱中症対策として町内8校の小中学校体育館に冷暖房施設を設けるとの報道があつた。町内小中学校の空調施設の状況は。

吉岡学校教育課長

普通教室と特別教室は整備済み。体育館については設置していない。



こちらから全質問を視聴いただけます。

議員 空調設置については国から交付金の支援もあると思う。これからはやはり普通教室、特別教室が完備されているのと同じように、体育館も必要性があると思う。

その他に「緑川水系河川整備計画について」「町長マニユフェストの協働のまちづくり」について質問を行った。

町長マニフェスト「遊具を備えた公園」 構想の中身は

町長 公園整備の基本構想の策定を早めに着手したい



井芹 しま子 議員

問 本町にも「親子で楽しめる公園の一つぐらいほしい」という声を受けたが、これまで質問を行ってきたが、今回の新町長のマニフェストでは、遊具を備えた公園が上げられている。その構想は。

甲斐町長

遊具を備えた公園の整備については、以前から要望が多かったことは認識している。公園整備の基本構想策定については早めに着手したい。

甲佐町の農業の現状認識と今後のあり方について

問 世界的な食料危機が叫ばれる中、国民の6割以上の食糧を外国頼みにしている日本では、食糧を生産する農業従事者が激減している。また、高齢化や、肥料、飼料、燃油

などの高騰が離農に拍車をかけようとしている。本町においても、2005年の農家数1,188戸から2020年には770戸と36%も減少している。本町における農業の現状の認識と今後の在り方は。

甲斐町長

農業は本町の基幹産業であり、振興にはしっかりと力を入れていきたい。併せて高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加など課題は多いが、担い手の確保、育成が重要と考えている。今後、ロボット技術やICTを活用したスマート農業の導入についても調査研究をしていきたい。

問 食糧生産や地域の環境保全、コミュニティなどを守る為にも農家を減らさない取り組みが大変重要と考える。小規模農家などの支援も拡充すべきでは。

甲斐町長

小規模農家の方々も法人等の組織に多く加入されており、農業の効率性や経営リスクを抑制する観点から組織加入を図っていきたい。

町の発展を見据えた戦略的道路網の整備とは

問 町の発展に必要な道路網整備とはなにか。

甲斐町長

現在、熊本都市圏では、熊本市中心部と熊本空港など、重要拠点間のアクセス向上のため、高規格道路整備計画が進められている。この高規格道路から本町までの道路ネットワークの整備が町の発展に必要と考えている。県道嘉島甲佐線の森崎橋から、国道443号線御船地区から、それぞれ本町へのアクセス向上について国や県に要望していきたい。

物産館の規模拡大・拡充の検討は

問 観光の面からも交流人口を増やすとマニフェストに上げられているが、やな場だけではなく、観光客にとって地元産などの買い物物のニーズは高いのではないか。観光にこられた方が必ず立ち寄りられるような楽しい物産館にする為にも、また、農業振興の為に規模拡大、拡充をすべきではないか。

甲斐町長

物産館の整備は必要と考えている。緑川を活かした川の駅といった施設の調査検討を行っていきたい。

子どもの学びの場の拡充と支援について

問 コロナ禍や物価高騰の中で子どもの教育格差が広がっている。その中で、塾や習いごとへ行かせる余裕のない家庭も多い。様々な子どもの可能性を引出す学びの場を公民館活動の一環として講座の拡充、費用の支援も含めて検討できないのか。

後藤社会教育課長

公民館の自主講座としてキッズダンス教室、英会話教室を開講している。本年度から、新たに英語教室も開講している。



こちらから全質問を視聴いただけます。

一般質問

里道整備に関する予算の確保は

町長 整備の方法、補助事業への移行など検討する



福田 謙二 議員

問 里道整備の整備規定は、どうなっているか。

志戸岡建設課長

維持管理は、利用される地域、集落の方で維持管理されるのが原則。町の支援策として維持管理に必要な原材料の支給、重機借上げ料の支給制度と平成28年に甲佐町法定外公共物整備要綱を定め、地域での整備が困難なものについては、町において整備できるようにしてある。

問 里道整備の要望が13件程度あるということで、現状の予算規模では、何年待っても整備できない状態と思う。予算の確保をしていただきたいと思うが考えは。

甲斐町長

行政区要望で集落内の町道、里道の整備要望がかなり上がっているのは承知している。今後道路の維持管理には多大な経費がかかるので中長期的考えのもと、計画的に整備していきたいと考える。予算増加については、全体的な整備費用を把握した上で整備の方法、補助事業への移行など、より整備効果が出るよう検討していきたい。

有害鳥獣被害対策について

問 鳥獣被害が増加傾向にあり、国庫補助金を使って電気柵の設置が行われているが、設置後相当期間が経過し老朽化しているものがある。更新年数は。

井上農政課長

電気柵は8年間。ワイヤーメッシュ製は14年間。

問 町独自の期間短縮はできないか。また、災害により再利用ができない場合はどうか。

井上農政課長

国の法律により、規定されており町独自の短縮はできない

い。災害の場合、国に財産の処分計画を提出し認められれば可能と思うが、減価償却の残部分について返還が生じる事例が多い。



被害にあった作物

問 電気柵、国庫補助の要件に3戸以上とあるが1戸での補助は出来ないか。

井上農政課長

個人個人ではなく、地域での広い範囲で効率的に実施する侵入防止対策を支援するため、区の計画として張りたいたのであれば1カ所でも対象となる。今年4月の区長会議で説明したが、今年11月頃要望調査を開始し、区長を通じて回覧で再度周知を行う考えである。

公共交通対策について

問 交通弱者及び免許返納者に対する支援策の検討結果は。

荒田企画課長

町営バスに変え、デマンド型乗合いタクシーを導入する考え。まず率先して交通不便地域、宮内、竜野地域に導入し、早ければ令和6年4月から開始したい。利用者の負担金に対しては町営バスの200円を基準に検討する。

また免許返納者に対する支援策は、町独自では行っていないが、県の免許返納支援制度により、熊バスの運賃が通常の半額で利用できるが、デマンド型乗合いタクシーを導入し、免許返納者に限らない新たな交通手段としての確保を考えている。



こちらから全質問を視聴いただけます。

マイナンバーカード 総点検の考えは

住民生活課長 現在のところ点検の予定はない



鳴瀬 美善 議員

問 現在までの登録者数と率は。

橋本住民生活課長

8月31日現在での交付数は8162人で、率は79.45パーセント。返納者数は6人。

問 カード登録のメリットは。

橋本住民生活課長

健康保険証、オンラインでの確定申告、パスポート更新、転出届ができるなどのメリットがある。



問 保険証や障害者手帳、住民税等との誤登録の有無は。

橋本住民生活課長

町においては、住民基本台帳の登録が反映されているため、誤登録は生じていない。

問 ひも付けミスの有無にかかわらず、総点検は必要ではないか。

橋本住民生活課長

デジタル庁によると、国民健康保険や住民税等の住民登録がある方に係る事務は点検対象から外されている。

住民登録外の方に係る事務においても適切な手順でマイナンバーを取得しており、現在のところ点検の予定はない。

安津橋健康広場周辺整備 について総合運動公園の 維持管理と子どもが遊べる 公園としての見直しは

問 総合運動公園の浸水被害状況と復旧の目途について。

志戸岡建設課長

被害総額は、4億3000万円。9月に災害査定を受け、工事完成は令和6年3月末を

予定。

問 施設周辺の星野川団地や個人住宅、あるいは施設下流にある農地等への冠水被害を防ぐための広範囲な河川整備計画変更の立案は。



壊れた堤防と冠水した農業用施設

甲斐町長

堤防の整備については、実施可能な事案かどうかを国土交通省とも協議した上で検討する。

問 施設利用者への継続的な利用支援やサポートの考えは。

後藤社会教育課長

町の公共施設であり、優先的な利用はできないが、年度当初に大規模な大会や地域のスポーツ振興を目的としたイベントについては、年間予約受付を行っている。これらの

団体については、復旧の目途が立ち次第連絡を入れる事としている。



こちらから全質問を視聴いただけます。



ボランティアによる復旧支援活動

問 総合運動公園内にある多目的広場での子どもの安全確保と新たな場所での公園整備の考えは。

甲斐町長

7月の豪雨で多目的広場も浸水した。子どもが安心して遊べる場所の再検討については、交流人口の増加や活力の再生など、総合的な観点から候補地を選定していきたい。

一般質問

2023 町長マニフェストについて

町長 新たな定住施策に取り組み若い世代から選ばれる町に



議員 甲斐 良二

問 2023年マニフェストについて問う。
定住人口の増加化対策として、定住促進に向けた取り組み強化の具体策は。

甲斐町長

本町が抱える社会問題の中でも特に少子高齢化の進展は重要課題である。若い世代の人口減少傾向に歯止めがかからない状況を打開していくためには、これまで実施してきた各種定住施策のブラッシュアップを図り、新たな定住施策にもチャレンジしていく必要がある。ソフト面では、子育て支援や教育環境のさらなる充実を図りながら、若い世代から選ばれる町づくりに取り組む。

一方ハード面での宅地開発に関しては、民間事業者に対し宅地開発を誘導するために

「甲佐町開発行為等支援要綱」があるが平成9年に制定され、その後補助金額等については約30年間見直しながざされていない状況である。この要綱が今の時代に適しているかどうかを改めて再評価し、民間事業者の魅力ある要綱に改正していく必要がある。

問 熊本市圏の若年層の転出を止める定住施策は。

甲斐町長

本町からの転出先は、圧倒的に熊本市圏が多い。効果的な定住施策を講じることによって転出者を減らし、転入者を増やすことは可能である。

データによると平成29年4月から令和2年3月までの3年間39歳以下の婚姻届出件数116件のうち57件が町外へ転出され、そのほとんどが熊本市圏への転出である。結婚と同時に賃貸住宅へ転居される傾向にあり、集合住宅の建設促進、子育て支援の充実、教育環境の整備、住宅の開発推進等の定住施策を展開しながら、進学就労結婚しても本町で生活できる環境づくりに取り組む。

問 交流人口増加対策として

中心市街地活性化に向けた取り組みは。

甲斐町長

本町の活性化を図る上でまず核となる部分は、やはり甲佐町商店街を中心とする中心街地一帯だと捉えている。

中心地の活性化については、行政のみならず、その一帯にお住まいの方や商工会、活性化させたいという思いを持つておられる有志の方と共にアイデアを出し合う場を設けたい。その中で出された意見や考え方を参考に「甲佐町中心市街地活性化計画」を作成したい。その計画に基づき行政も支援を行っていき、協働のまちづくりの推進につなげていきたい。

問 企業誘致と同様に店舗誘致も進めるべきと思うが町長の考えは。

甲斐町長

中心市街地の活性化に向けた取り組みを進めていく際に、空き店舗に誘致していくことは当然ありだと思う。その際には、私のマニフェストの中には、「企業への支援、若者のチャレンジへの支援」と掲げているが、それらを制度設計して

店舗誘致について推進していくのも一つの方法ではないかと考える。



甲佐町商店街



こちらから全質問を視聴いただけます。

未来へのつばさ

18歳の選挙権

熊本県立甲佐高等学校 藤本 涉琉

私はいつも早く大人になりたいと思っていました。大人になれば色々なことができると考えていたからです。今年の10月に就職内定が決まり、来年の4月から新社会人になっていくということが、自分にとって、少しずつ現実のものとなってきました。大人になるとはどういうことか、大人になると、どのような決まりや権利を得られるのかを授業などで知り、たくさん準備が必要だということがわかりました。そのなかでも特に、18歳になると選挙権が得られるという、選挙について考える時間を頂きました。今まで校内では生徒会の選挙をして、生徒会長や役員を決めています。また、大人は働くとき税を納め、税の使い道を代表者が決定するということが等々学びました。このように、日常でも、社会をよりよくするために、そして、秩序を守るために選挙をしていき、その権利を18歳になると得ることができるといって、素晴らしいことを知りました。私は、18歳で選挙権を持ち、高校卒業で新社会人となり、大人になることでそれと同時に、責任が伴ってくると思いがちでしたが、これからは、大人として選挙の責任は必ず果たし、権利を与えられているということ、いつも頭の片隅に置きながら生きていきたいです。

議会広報編集特別委員会研修報告

全国町村議会議長会主催の 広報研修会に参加

9月26日東京日経ホールにおいて、町村議会広報研究会に参加した。研修会は、左記のテーマで講義が行われた。

- ① 広報担当者が知っておきたい法律知識
- ② 読者を夢中にさせる広報紙づくりの基礎の基礎
- ③ やってはいけないデザイン講座

要旨としては、広報紙の作成にあたり、必要不可欠な権利侵害、情報デザインの重要性等、情報発信の手段であり目的ではない事など、改めて地域の人に読まれる広報紙づくりを目指さなといけないと感じた。

法を順守し、ターゲットを決め、目に止めてもらう事を第一に、高齢者にもわかりやすい言葉遣いなど意識改善を図り、今後の広報活動に生かしていきたい。

また、「外に出て発見するアクションにも挑戦していく」必要性を感じた。



町民の皆様の議会傍聴をお待ちしています。お気軽にお越しください。

※令和5年第4回(12月)定例会は、12月8日開会の予定です。

編集後記

熊本地震から7年が過ぎ、当時に生まれた子どもたちも小学生となった。多くのものが失われたが、7年の月日の中で新たなまちに生まれ変わってもきた。3年前には、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、今日に至っている。

水害に関しては、線状降水帯の発生で甚大な被害をもたらす時代となった。

過去にも多くの災害や苦難に直面し、その中であつても一人一人が知恵を絞りを合わせ難局を乗り越えてきた。

9月には新町長が誕生し、新たな時代のスタートとなった。

町民皆様の思いが繋がるような町政に期待する。

(鳴瀬 美善)

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 甲斐 良二 |
| 副委員長 | 佐野 安春 |
| 委員 | 森田 精子 |
| 委員 | 鳴瀬 美善 |
| 委員 | 田中 孝義 |



甲佐町

議会だより

第187号 2023年11月15日発行

この議会だより「清流」は再生紙を使用しています。